



SCIENCE
BASED
TARGETS

DRIVING AMBITIOUS CORPORATE CLIMATE ACTION

中堅・中小企業のための の FAQ

TVT-INF-002 / Version 2.0
April 2021



中堅・中小企業のための FAQs

TVT-INF-002 | Version 2.0 | April 2021

パート 1 : Sme の定義、ルート、メソッドのアプローチ

SBTi はなぜ新しい中小企業ルートを導入したのですか？

SBTi が中小企業向けにこの迅速なオプションを導入したのは、中小企業はスコープ 3 の目標を設定し、それに対する進捗を監視するために必要なリソースや能力を欠いていることが多いからです。

SBTi の中小企業向けの迅速かつ簡素化されたアプローチは、中小企業に大きな負担を強いることなく、バリューチェーン全体の排出量を考慮する必要性のバランスをとっています。

中小企業向けルートは、標準的な目標検証ルートとどのように違うのですか？

SBTi の中小企業向けの合理的なルートでは、科学的根拠に基づく目標の設定を約束する初期段階や、標準的な目標の検証プロセスを回避することができます。中小企業は、中小企業目標設定書で利用可能な定義済みの目標オプションの 1 つを選択することで、スコープ 1 および 2 の排出量に対する科学的根拠に基づく目標を直ちに設定することができます。大企業とは異なり、SBTi は中小企業にスコープ 3 の排出量の目標設定を求めませんが、中小企業はスコープ 3 の排出量を測定し、削減することを約束しなければなりません。

SBTi は中小企業をどのように定義していますか？

SBTi による目標検証のためには、中小企業は従業員 500 人未満の非子会社、独立企業と定義されます。ただし、金融機関や石油・ガス会社は含まれません（下記参照）。

SBTi では、上記の基準のみを考慮して企業を中小企業に分類し、この定義に該当する企業のみが中小企業向けの合理化ルートを利用することができます。国レベルの定義、排出量原単位、時価総額、またはその他の考慮事項は、SBTi がこのタイプの企業を分類するためには使用されません。

従業員の数はどのようにして数えるのですか？

従業員は、フルタイム従業員（FTE）の数ではなく、ヘッドカウントを用いて特定されます。

従業員数が年単位で変動する会社の場合はどうすればいいですか？

季節的な従業員がいる企業や、年単位で変動する従業員がいる企業は、従業員数を決定するために、年間の平均人数を使用する必要があります。

ターゲットを検証するために、どのような情報を提供する必要がありますか？

当社の標準的な目標検証ルートを利用する大企業と同様に、中小企業も温室効果ガスプロトコル企業会計報告基準およびスコープ 2 ガイダンスに準拠した最新の包括的な温室効果ガス排出インベントリを作成する必要があります。

企業は、スコープ 1 および 2 の排出量を生み出す活動を記述することが求められ、承認後は、全社的なスコープ 1 および 2 の温室効果ガス排出量インベントリと、公表された目標に対する進捗状況を年 1 回、公的に報告することが求められます。

上記の情報は、Target Setting Letter (TSL)を送付する際に必要となります。何らかの情報が不足している場合、検証プロセスに遅れが生じます。

目標を検証するためのプロセスはどのようなものですか？

1. Target Setting Letter を完成させ、署名の上、TSL のデジタルコピー（PDF 形式）を targets@sciencebasedtargets.org に送信してください。受信後、確認メールが送信されます。
2. デューデリジェンスとターゲットの承認 すべての情報が完全かつ正確であることを確認するために、SBTi によって徹底的なレビューが行われます。情報に不備があったり、矛盾があったりすると、全体のプロセスが遅れることとなります。デューデリジェンスに合格した後、ターゲット承認を確認するためのメールが送信されます。
3. 請求書の発行と料金の支払い：TSL で提出された請求書情報に基づいて、支払いの詳細が SME に送られます。完了後、1 回限りの手数料 1,000 米ドル（+適用される VAT）の支払い確認書を targets@sciencebasedtargets.org に送付します。
4. 支払いの確認と対象の確認。入金確認を受けて、SBTi ファイナンスチームで入金を確認します。ターゲットの承認と登録を確認する最終確認書が中小企業に送信されます。このメールには、コミュニケーションパックとターゲット公開に関する関連情報が含まれています。
5. 5.目標の公表 目標は、Science Based Targets initiative (SBTi) のウェブサイト、およびパートナー企業の CDP と We Mean Business のウェブサイト で公表されます。また、国連グローバル・コンパクトに参加している中小企業もこのウェブサイトで紹介されます。

私は中小企業に勤めていますが、SBTを設定するために会社は何をすべきですか？

あなたの会社が従業員 500 人未満の非子会社、独立系企業である場合、科学的根拠に基づく目標を設定する方法は以下の通りです。「Target Setting Letter for SMEs」に必要事項を記入し、電子メールで targets@sciencebasedtargets.org に提出してください。なお、1 回限りの目標検証料として、1,000 米ドル（+適用される VAT）がかかります。すべての中小企業は、中小企業のための目標設定書を使用して目標を検証する必要があります。

私の会社が中小企業で、SBT が承認されている場合はどうなりますか？

貴社が中小企業であり、SBTi が貴社の科学的根拠に基づくターゲットを既に承認している場合、承認されたターゲットは有効です。ただし、ターゲットの再提出または更新を希望する場合は、中小企業向けターゲット設定レターを使用する必要があります。

SBT を設定してから、私の会社の従業員数は 500 人以上に増えました。これは、非中小企業としてターゲットを再提出しなければならないということですか？

SBTi 基準では、最新の気候科学やベストプラクティスとの整合性を確保するために、ターゲットは最低でも 5 年ごとに見直し、必要であれば再計算して再検証しなければならないと強調しています。そのため、目標設定後の従業員数が 500 人以上の企業は、最低 5 年後に目標を見直すことができます。

中小企業である金融機関や石油・ガス会社も新ルートを利用できますか？

いいえ、これらのセクターは SME streamlined route を利用することはできません。石油・ガス会社は、中小企業であるかどうかにかかわらず、現時点では目標を設定することができません。金融機関については、金融セクター向けのフレームワークを使用し、融資や投資のポートフォリオをパリ協定の野心に合わせることを求められます。

SBTi がターゲット検証の目的でこれらのセクターの企業をどのように定義しているかについては、スタンダード・コミットメント・レターを参照してください。

中小企業向けの特別ルートでターゲットを提出しました。いつ公表されますか？

中小企業専用ルートで提出されたターゲットは承認され、SBTi のウェブサイトに掲載されます。SBTi のウェブサイトに掲載され、デューデリジェンスの審査と支払いが行われます。また、企業にはウェルカムパックが送付され、SBTi のロゴをウェブサイトや企業のコミュニケーションに使用することができます。

1.5°Cのためのビジネス・アンビション」キャンペーンに参加する中小企業に期待されることは何ですか？

1.5° Cのためのビジネス・アンビション」への中小企業の参加を歓迎します。中小企業が「1.5°Cへの挑戦」コミットメント・レターに署名することを決めた場合、まず中小企業目標設定書に記入、署名、提出しなければなりません。承認された目標があれば、中小企業は「1.5° Cのためのビジネス・アンビション」のコミットメント・レターに署名してキャンペーンに参加することができます。中小企業目標設定書のスコープ 1+2 目標が、1.5°Cのためのビジネス・アンビション書簡のオプション 1 またはオプション 2 に沿った野心のレベルと一致することが重要である。オプション 1 の場合は、1.5°Cに沿ったスコープ 1+2 目標が必要であり、オプション 2 の場合は、2°Cを十分に下回るレベルに沿ったスコープ 1+2 目標で十分である。

中小企業は、SBTi の検証のためにスコープ 3 の目標を提出することは期待されていませんが、中小企業目標設定書を提出することで、スコープ 3 の排出量を測定・削減することを約束したことになります。

中小企業目標設定書を提出しない中小企業は、SBTi と 1.5°C のビジネス野心の一部とはみなされません。

1.5° C のためのビジネス・アンビションの詳細については、よくある質問をご参照ください。

新しい中小企業ルートを利用して 2°C を大きく下回る目標を設定した後、野心度を 1.5°C にアップグレードしたい場合、1,000 米ドルの手数料を再度支払う必要がありますか？

いいえ、この料金は 1 回限りのものです。基準年と目標年を変えずに企業の目標をアップグレードすることは、SBTi では自発的な野心度の更新とみなされ、現在のところ企業の種類を問わず費用はかかりません。

中小企業は 1,000 米ドルの手数料を支払う必要がありますか？

国連事務局の経済社会局が定義する発展途上国や経済移行国に本社を置く中小企業は、手数料を免除することができます。Target Setting Letter を targets@sciencebasedtargets.org に送付する際、中小企業は考慮されるべきイニシアチブの免除を申請する必要があります。

パート 2 : 基準年、再計算、排出量インベントリ

Target Setting Letter に記載されている基準年と異なる基準年を使用することはできますか？

SME ルートを利用する企業は、2018 年、2019 年、2020 年とは異なる基準年、あるいは異なる目標年を選択することはできません。あらかじめ定義された目標オプションは、温度目標に対する目標を分類するためにイニシアチブが使用する直線的な年間削減率をきれいに表しています。これらのオプションは、世界の気温上昇を 1.5°C 以下に抑えることや、2°C を十分に下回ることを目的としています。目標分類のためのこれらのしきい値についての詳細は、論文「Foundations of Science-based Target Setting」を参照してください。

買収、合併、売却に基づいて、目標を再計算する必要がありますか？

もしあなたの会社が新しいビジネスを買収したり、あるビジネスラインから撤退したりしても、ターゲットを維持してください。絶対値ベースの目標を使用する利点の一つは、野心のレベルが影響を受けないことです。基準年の排出量を調整して、新しい組織の境界を含め、一貫して進捗を追跡する必要があります。基準年の再計算の詳細については、GHG プロトコルの Corporate Accounting and Reporting Standard をご参照ください。

私の会社が中小企業で、スコープ 1 やスコープ 2 の排出量がない場合でも、目標設定書に記載されている所定のオプションを使用できますか？

はい、目標設定書に記載されている所定のオプションを使用することができます。目標に対する進捗状況を報告する際には、スコープ 1 排出量やスコープ 2 排出量を排出していないことを示さなければなりません。スコープ 1 またはスコープ 2 の排出が目標期間中に発生した場合は、目標進捗報告の一環として報告しなければなりません。

中小企業がスコープ 3 の目標を設定することはできますか？

SBTi は、中小企業ルートを利用する企業にスコープ 3 の目標設定を要求しませんが、中小企業はスコープ 3 の排出量を測定し、削減することを約束しなければなりません。中小企業は、野心的なスコープ 3 目標を設定し、自社のウェブサイトやその他の公的なチャンネルで伝えることができますが、これらはこのイニシアチブでは検証されません。スコープ 3 の目標を設定する場合は、SBTi のリソースを利用して野心的なスコープ 3 の目標を設定することをお勧めします。

あらかじめ決められた選択肢があるということは、中小企業は、セクター別脱炭素化アプローチ (SDA) などの科学的根拠に基づく他の目標方法を使えないということですか？

最も簡単な絶対目標のみを掲載しています。これにより、中小企業が目標を設定する際に、さまざまな目標設定方法や入力データを検討する必要がなく、あらかじめ定義された目標オプションを選択することができます。すべてのタイプの目標（絶対値または原単位）について、気候科学は、排出量を成長から切り離す必要があることを示している。SDA では、目標を算出するために、初期の原単位と予測される成長を考慮しているにもかかわらず、すべてのセクターについて絶対的な排出量の削減を求めています。

目標に対する進捗状況を毎年報告する方法について、具体的なガイダンスはありますか？

企業は、自社の排出量インベントリと目標に対する進捗状況を公開する必要があります。推奨される方法としては、アニュアルレポート、サステナビリティレポート、CDP、ウェブサイトなどがあります。排出量の測定と報告に関するガイダンスとしては、SME Climate Hub が提供するツールボックスを推奨します。 <https://smeclimatehub.org/tools/>

設定した目標をどのように実行し、どのように排出削減を達成するかについてのガイダンスはありますか？

SBTi は、設定された目標を達成するための排出削減対策に関する詳細なリソースを提供していません。これらの対策は、セクターごと、企業ごとに異なります。自社の排出量やバリューチェーンの排出量を削減するためのガイダンスとして、SME Climate Hub のツールボックスを参照することをお勧めします。 <https://smeclimatehub.org/tools/>